プログラム

10月6日（火） 第1会場 14

10月7日（水） 第1会場 15
第2会場 17

10月8日（木） 第1会場 19
第2会場 21

ワークショップ 23
ポスター 31

10月6日（火）　第1会場：グランヴィリオホールAB

10月6日（火）17:00-17:50　　第1会場：グランヴィリオホールAB

基調講演1

【モデレーター】 中村 祐輔（(公財）がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター）

K1　**プロテアソーム -基礎から医学応用へ-**.....42
田中 啓二
（公財）東京都医学総合研究所

10月6日（火）17:50-18:40　　第1会場：グランヴィリオホールAB

基調講演2

【モデレーター】 西岡 安彦（徳島大学大学院医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野）

K2　**新規分子標的薬創製への挑戦**.....43
宇津木 照洋
大鵬薬品工業（株）研究本部・開発本部・MA本部・知財部担当

10月7日（水）8:30-9:00　　第1会場：グランヴィリオホールAB

Year in Review1

【モデレーター】 矢野 聖二（金沢大学がん進展制御研究所　腫瘍内科研究分野）

YIR1　**がんイメージングの最前線**.....44
今村 健志
愛媛大学 大学院医学系研究科 分子病態医学講座

10月7日（水）9:00-11:40　　第1会場：グランヴィリオホールAB

シンポジウム1

ケミカルバイオロジーの新展開と創薬

【モデレーター】 内藤 幹彦（国立医薬品食品衛生研究所　遺伝子医薬部）
永瀬 浩喜（千葉県がんセンター 研究所）

S1-1　**個体を使用した新規がん治療薬の創出基盤**.....46
園下 将大
北大・遺制研・がん制御

S1-2　**リン酸化酵素フォールディング中間体を標的とした創薬研究**.....46
喜井 勲
信州大学　農学部

S1-3　**特殊ペプチド創薬からネオバイオロジクス創薬**.....47
菅 裕明
東京大学大学院理学系研究科

S1-4　**乳がん治療耐性克服を目指した抑制因子活性化誘導 PPI 阻害ペプチドの開発**.....47
片桐 豊雅、吉丸 哲郎、松下 洋輔
徳島大学　先端酵素学研究所　ゲノム制御学分野

S1-5　**腫瘍ホーミングペプチドを搭載した新規抗膵がん剤(PDC)の創薬研究**.....48
近藤 英作、飯岡 英和、斎藤 憲
新潟大・院医歯学総合・分子細胞病理

10月7日（水）11:50-12:50　　第1会場：グランヴィリオホールAB

ランチョンセミナー1

転移性腎細胞癌における新たな治療戦略～カボザンチニブの位置づけ～

座長：杉元 幹史（香川大学医学部　泌尿器・副腎・腎移植外科　教授）

LS-1　**転移性腎細胞癌における新たな治療戦略～カボザンチニブの位置づけ～**
金山 博臣
徳島大学大学院医歯薬学研究部　泌尿器科学分野　教授

共催：武田薬品工業株式会社

10月7日（水）13:00-14:00　　第1会場：グランヴィリオホールAB

ランチョンセミナー3

がんゲノムプロファイリング検査を用いた耐性克服

座長：堀田 勝幸（岡山大学病院 新医療研究開発センター臨床研究部 部長）

LS-3　がんゲノムプロファイリング検査を用いた耐性克服

坂井 和子

近畿大学医学部ゲノム生物学教室 講師

共催：中外製薬株式会社

10月7日（水）14:10-16:50　　第1会場：グランヴィリオホールAB

シンポジウム2

次世代がん免疫療法を耐性・バイオマーカー研究から考える

【モデレーター】 松井 順二（エーザイ株式会社　オンコロジービジネスグループ　トランスレーショナル部）
西岡 安彦（徳島大学大学院医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野）

S2-1　がん微小環境から見た免疫療法耐性化機序の解析.....49

小山 正平[1,2]

[1]大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学
[2]国立がん研究センター先端医療開発センター

S2-2　がん臨床検体を用いた免疫チェックポイント阻害薬耐性機構の探索と分泌型 PD-L1 バリアント.....49

片山 量平[1]、藤田 直也[2]

[1]公益財団法人がん研究会　がん化学療法センター　基礎研究部
[2]公益財団法人がん研究会　がん化学療法センター

S2-3　ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法.....50

松下 博和[1,2]

[1]愛知県がんセンター　腫瘍免疫制御TR分野
[2]名古屋大学大学院医学系研究科　がん免疫ゲノム分野

S2-4　免疫チェックポイント阻害剤と制御性 T 細胞.....50

冨樫 庸介

千葉県がんセンター　研究所

S2-5　TCR レパトア解析による抗腫瘍免疫モニタリング.....51

上羽 悟史

東京理科大学　生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門

10月7日（水）16:50-16:55　　第1会場：グランヴィリオホールAB

研究奨励賞、鶴尾隆賞授与式

10月7日（水）16:55-17:25　　第1会場：グランヴィリオホールAB

鶴尾隆賞受賞講演

【モデレーター】 中村 祐輔（(公財）がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター）

T　**がんの進展に関わるエピジェネティクスの解明と創薬への応用**.....144
近藤 豊
名古屋大学 大学院医学系研究科 腫瘍生物学

10月7日（水）17:25-　　第1会場：グランヴィリオホールAB

総会

10月7日（水）　第2会場：グランヴィリオホールDE

10月7日（水）8:30-9:00　　第2会場：グランヴィリオホールDE

Year in Review2

【モデレーター】 髙橋 俊二（(公財）がん研究会　がん研有明病院　総合腫瘍科）

YIR2　**がん幹細胞を標的とした治療戦略**.....44
後藤 典子
金沢大学　がん進展制御研究所

10月7日（水）9:00-9:40　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演1

【モデレーター】 高山 哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部　消化器内科学分野）

E1　**胃癌・大腸癌の分子標的治療の進歩**.....57
石岡 千加史
東北大学　病院　腫瘍内科

10月7日（水）10:10-10:50　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演2

【モデレーター】 木村 晋也（佐賀大学医学部内科学講座　血液・呼吸器・腫瘍内科）

E2　**多発性骨髄腫に対する治療の進歩と分子標的療法の開発**.....57
安倍 正博
徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野

10月7日（水）10:50-11:30　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演3

【モデレーター】 金山 博臣（徳島大学大学院医歯薬学研究部　泌尿器科学分野）

E3　**分子標的治療と免疫治療が協奏する腎細胞癌治療の現在**.....58
大家 基嗣、小坂 威雄
慶應義塾大学医学部泌尿器科

10月7日（水）11:50-12:50　　第2会場：グランヴィリオホールDE

ランチョンセミナー2

耐性克服を見据えたドライバー遺伝子変異陽性肺がんの治療戦略

座長：西岡 安彦（徳島大学大学大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野 教授）

LS-2　**耐性克服を見据えたドライバー遺伝子変異陽性肺がんの治療戦略**
岩間 映二
九州大学病院 がんセンター 外来化学療法室・呼吸器科 助教

共催：アストラゼネカ株式会社

10月7日（水）13:00-14:00　　第2会場：グランヴィリオホールDE

ランチョンセミナー4

免疫チェックポイント阻害薬最近の話題

座長：岡本 勇（九州大学病院 呼吸器科 診療准教授）

LS-4　免疫チェックポイント阻害薬最近の話題
林 秀敏
近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 講師

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

10月7日（水）14:10-14:50　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演4

【モデレーター】 西尾 和人（近畿大学医学部　ゲノム生物学教室）

E4　リキッドバイオプシーによるクリニカルシーケンスの現状と未来.....58
吉野 孝之
国立がん研究センター東病院

10月7日（水）14:50-15:30　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演5

【モデレーター】 矢守 隆夫（帝京大学　臨床研究センター）

E5　臨床研究法と研究倫理指針の改正.....59
中村 健一
国立がん研究センター中央病院

10月7日（水）15:50-16:30　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演6

【モデレーター】 清水 史郎（慶應義塾大学　理工学部　応用化学科）

E6　テロメアから始まるがん創薬.....59
清宮 啓之
（公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子生物治療研究部

10月8日（木）　第1会場：グランヴィリオホールAB

10月8日（木）8:30-9:00　　第1会場：グランヴィリオホールAB

Year in Review3

【モデレーター】 藤田 直也（(公財）がん研究会　がん化学療法センター）

YIR3　**がん分子標的治療薬耐性**.....45
山田 忠明
京都府立医科大学　大学院　呼吸器内科学

10月8日（木）9:10-11:10　　第1会場：グランヴィリオホールAB

シンポジウム3

ビッグデータ時代のAI創薬の未来

【モデレーター】 吉野 孝之（国立がん研究センター東病院　消化管内科）
川田 学（(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所　第 1 生物活性研究部）

S3-1　**横断的オミクス解析で迫る疾患病態解明とゲノム創薬**.....52
岡田 随象
大阪大学　大学院医学系研究科　遺伝統計学

S3-2　**スーパーコンピュータ・AI が拓くがん分子標的治療戦略**.....52
奥野 恭史
京都大学大学院　医学研究科　ビッグデータ医科学分野

S3-3　**Precision Medicine 実現に向けたビッグデータ解析時代のがん研究**.....53
浜本 隆二[1,2]
[1]国立がん研究センター　研究所　がん分子修飾制御学分野
[2]理研　革新知能統合研究センター　がん探索医療研究チーム

S3-4　**AI によるがんの層別化と予測**.....53
川上 英良[1,2]、石川 哲朗[1]、古関 恵太[1]
[1]理化学研究所
[2]千葉大学

10月8日（木）11:20-12:20　　第1会場：グランヴィリオホールAB

ランチョンセミナー5

解明される腫瘍免疫のメカニズム

座長：矢野 聖二（金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科 教授）

LS-5　**解明される腫瘍免疫のメカニズム**
各務 博
埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 教授 / 呼吸器病センター長

共催：MSD株式会社

10月8日（木）12:30-13:10　　第1会場：グランヴィリオホールAB

教育講演9

【モデレーター】 高井 信治（小野薬品工業株式会社　メディカルアフェアーズ部）

E9　免疫チェックポイント分子の機能解明と新たな創薬の可能性 61
岡崎 拓
東京大学　定量生命科学研究所　分子免疫学研究分野

10月8日（木）13:30-16:10　　第1会場：グランヴィリオホールAB

シンポジウム4

がん分子標的創薬の産官学連携：成功への道を探る

【モデレーター】 清宮 啓之（（公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子生物治療研究部）
根東 攝（中外製薬株式会社　メディカルアフェアーズ本部 プロダクトリサーチ部）

S4-1　iPS 細胞を用いた T 細胞再生治療における産官学連携 54
金子 新
京都大学　iPS細胞研究所

S4-2　産学連携を基軸としたがん特異的抗体の開発 54
加藤 幸成
東北大学大学院　医学系研究科　抗体創薬研究分野

S4-3　新規抗体薬物複合体 Trastuzumab deruxtecan（T-DXd；DS-8201）の研究開発 55
鎌井 泰樹
第一三共株式会社　研究開発本部　オンコロジー第一研究所

S4-4　産学官連携の成功に向けて ～企業・大学の両方の立場を経験して～ 55
小泉 智信
アステラス製薬株式会社

S4-5　産官学連携を通して医療研究を実用化へ導くための知財戦略 56
淺野 美奈
国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　実用化推進部

10月8日（木）16:10-　　第1会場：グランヴィリオホールAB

表彰式・閉会式

10月8日（木）　第2会場：グランヴィリオホールDE

10月8日（木）8:30-9:00　　第2会場：グランヴィリオホールDE

Year in Review4

【モデレーター】 長田 裕之（国立研究法人理化学研究所　環境資源科学研究センター　ケミカルバイオロジー研究グループ）

YIR4　**がんにおけるエピゲノム制御と創薬**.....45
北林 一生
国立がん研究センター　研究所　造血器腫瘍

10月8日（木）9:40-10:20　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演7

【モデレーター】 今村 健志（愛媛大学 大学院医学系研究科　分子病態医学講座）

E7　**一細胞解析によるがんの多様性の解明**.....60
石川 俊平
東京大学　医学部・大学院医学系研究科　衛生学教室

10月8日（木）10:20-11:00　　第2会場：グランヴィリオホールDE

教育講演8

【モデレーター】 三森 功士（九州大学病院別府病院　外科）

E8　**iPS 細胞技術の生体応用によるがんの理解と制御**.....60
山田 泰広
東京大学　医科学研究所　システム疾患モデル研究分野

10月8日（木）11:20-12:20　　第2会場：グランヴィリオホールDE

ランチョンセミナー6

乳癌治療におけるCDK4/6阻害薬の有用性：基礎から臨床まで

座長：丹黒 章（徳島大学大学院医歯薬学研究部 胸部・内分泌・腫瘍外科学 教授）

LS-6　**乳癌治療における CDK4/6 阻害薬の有用性：基礎から臨床まで**
紅林 淳一
川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学 教授

共催：日本イーライリリー株式会社

10月8日（木）12:25-13:25　　第2会場：グランヴィリオホールDE

ランチョンセミナー7

EGFR肺癌治療の今までとこれから…

座長：倉田 宝保（関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 診療教授）

LS-7　**EGFR 肺癌治療の今までとこれから…**
野上 尚之
愛媛大学大学院医学系研究科 地域胸部疾患治療学講座 教授

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

WEB

ワークショップ1

免疫療法・抗体療法1

【モデレーター】 藤原 康策（第一三共株式会社　オンコロジーメディカルサイエンス部）
東 公一（久留米大学医学部　呼吸器内科）

W1-1　ペンブロリズマブ療法の OS を予測する治療前因子.....62
湯浅 健
公益財団法人　がん研究会　有明病院　泌尿器科

W1-2　EGFR 遺伝子変異陽性肺がん患者における免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する後方視的検討.....62
森本 健司、吉村 彰紘、山田 忠明
京都府立医科大学呼吸器内科学部門

W1-3　EGFR 遺伝子変異陽性肺癌における T 細胞免疫と EGFR-TKI 効果.....63
毛利 篤人、山口 央、塩野 文子、橋本 康佑、三浦 雄、小林 国彦、解良 恭一、各務 博
埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科

W1-4　マルチエピトープカクテル型新規がんペプチドワクチン TAS0313 は PD-1 抗体と相乗的な抗腫瘍効果を示す.....63
長田 年弘、後藤 理沙、宮寺 和孝、宇津木 照洋
大鵬薬品工業株式会社

W1-5　進行肺癌治療経過中における血漿中傷害関連分子パターン(DAMPs)推移の検討.....64
堤 央乃、井上 博之、古川 里恵、岡村 晃資、岩間 映二、岡本 勇
九州大学大学院医学研究院　胸部疾患研究施設

WEB

ワークショップ2

免疫療法・抗体療法2

【モデレーター】 照井 康仁（がん研究会有明病院　血液腫瘍科）
片山 量平（(公財）がん研究会　がん化学療法センター　基礎研究部）

W2-1　Interferon-β シグナルにより、腫瘍細胞の PD-L1 発現が増強するメカニズムについての解析.....64
岸田 綱郎[1]、森本 吉恵[2]、高山 浩一[2]、松田 修[1]
[1]京都府立医科大学　免疫学
[2]京都府立医科大学　呼吸器内科学

W2-2　免疫チェックポイント阻害薬および血管新生阻害薬併用療法における腫瘍内 fibrocyte-like cell の機能解析.....65
三橋 惇志[1]、Tania Afroj[1]、荻野 広和[1]、Nguyen Thi Na[1]、米田 浩人[1]、香西 博之[1]、
大塚 憲司[1]、杉本 正道[2]、根東 攝[2]、軒原 浩[1]、西岡 安彦[1]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野
[2]中外製薬株式会社プロダクトリサーチ部

W2-3　DLL3 を標的とした小細胞肺癌に対する近赤外線光免疫療法の開発.....65
佐藤 和秀[1]
[1]名古屋大学高等研究院
[2]最先端イメージング分析センター／医工連携ユニット
[3]名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座呼吸器内科学

W2-4　低分子化合物は抗原認識能の向上により腫瘍抗原特異的 T 細胞輸注療法の効果を増強する 66
道津 洋介[1,2]、迎 寛[1]
[1]長崎大学大学院　医歯薬学総合研究科呼吸器内科(第二内科)
[2]長崎大学大学院　医歯薬学総合研究科医療科学専攻　腫瘍医学

W2-5　HSVtk 遺伝子導入腫瘍細胞を用いた生体内のアポトーシス細胞に対する免疫応答の解析.....66
梅垣 翔、城田 英和、石岡 千加史
東北大学加齢医学研究所　臨床腫瘍学分野

WEB

ワークショップ3
転移・浸潤

【モデレーター】 西田 升三（近畿大学薬学部　薬物治療学）
早川 芳弘（富山大学和漢医薬学総合研究所　生体防御学領域）

W3-1　ヒストン脱メチル化酵素 KDM6A の機能欠損は乳がんの悪性化と転移を促進する 67
古室 暁義、上田 健、天野 恭志、岡田 斉
近畿大学　医学部　生化学教室

W3-2　非受容体型脱リン酸化酵素 PTPN3 は Crumbs3 と相互作用し、大腸腺癌の細胞移動を促進する 67
飯岡 英和、齋藤 憲、近藤 英作
新潟大学大学院　医歯学総合研究科　分子細胞病理学分野

W3-3　骨肉腫細胞が誘導する血小板活性化はリゾホスファチジン酸分泌を介して浸潤能亢進に寄与する....68
高木 聡[1]、小池 清恵[1]、藤田 直也[2]、片山 量平[1]
[1]（公財）がん研究会・がん化学療法センター・基礎研究部
[2]（公財）がん研究会・がん化学療法センター

W3-4　同所性移植を用いた膵臓がん転移に関する新規標的分子の探索.....68
宮内 建輔、高橋 恵生、江幡 正悟、宮園 浩平
東京大学大学院　医学系研究科　分子病理学

W3-5　大腸がん転移抑制因子 HNRNPLL は p120-catenin をコードする CTNND1 の
選択的スプライシングを制御する.....69
青木 正博
愛知県がんセンター　研究所　がん病態生理学分野

WEB

ワークショップ4
ケミカルバイオロジー

【モデレーター】 井本 正哉（順天堂大学大学院医学研究科　オートファジー調節化合物探索研究講座）
新家 一男（産業技術総合研究所　生命工学領域　創薬基盤研究部門）

W4-1　Hippo 経路における YAP-TEAD 相互作用を標的とした阻害剤探索.....69
高瀬 翔平[1]、長田 裕之[2,3]、吉田 稔[4,5,6]、伊藤 昭博[1,5]
[1]東京薬科大・生命科学
[2]理研CSRS・ケミカルバイオロジー
[3]理研CSRS・創薬ケミカルバンク
[4]理研CSRS・創薬シード
[5]理研CSRS・ケミカルゲノミクス
[6]東大院農・応生工、微生物連携機構

W4-2　急性骨髄性白血病に対する FLT3 分解誘導キメラ化合物の開発 70
大岡 伸通、内藤 幹彦
国立医薬品食品衛生研究所

W4-3　神経芽腫の増幅 ALK 遺伝子を標的とした PI ポリアミド DNA アルキル化剤の開発 70
高取 敦志[1]、永瀬 浩喜[2]
[1]千葉県がんセンター研究所 がん先進治療開発研究室
[2]千葉県がんセンター研究所 がん遺伝創薬研究室

W4-4　延命草の苦味成分 rabdosianone I はミトコンドリア内膜タンパク質 ANT2 と PHB2 に直接結合し、thymidylate synthase の発現を抑制する 71
渡邉 元樹[1]、酒井 敏行[2]
[1]京都府立医科大学　院医　分子標的予防医学
[2]京都府立医科大学　創薬センター

W4-5　甲状腺未分化癌細胞における lenvatinib と IRAK1/4 inhibitor I の併用効果の検討 71
川村 佳史、西條 憲、今井 源、石岡 千加史
東北大学　加齢医学研究所　臨床腫瘍学分野

WEB

ワークショップ5
ゲノム・エピゲノム

【モデレーター】 吉田 稔（国立研究開発法人 理化学研究所　ケミカルゲノミクス研究グループ／東京大学大学院農学系研究科）
近藤 豊（名古屋大学大学院医学系研究科　腫瘍生物学）

W5-1　新規 LSD1 阻害剤 TPC-144 の AML/SCLC モデルにおける抗腫瘍効果の評価 72
畑中 良
大鵬薬品工業株式会社

W5-2　慢性骨髄性白血病に対する新規経口 DNA 脱メチル化剤 OR-2100 の効果は、p53 発現により異なる 72
蒲池 和晴[1,2]、嬉野 博志[1,2]、倉橋 祐樹[1,3]、吉田 奈央[1]、山本 雄大[1]、渡邉 達郎[1]、木村 晋也[1,2]
[1]佐賀大学 医学部　創薬科学講座
[2]佐賀大学 医学部　血液・呼吸器・腫瘍内科
[3]大原薬品工業株式会社

W5-3　二つの mTOR 複合体による癌ヒストンメチル化の協調的制御 73
増井 憲太
東京女子医科大学　医学部　病理学・病態神経科学分野

W5-4　骨髄腫細胞は HDAC1 と IRF4 を介し SLAMF7 を過剰発現する 73
原田 武志[1]、天眞 寛文[1,2]、谷本 幸多朗[1,2]、清水 宗[1,2]、安倍 正博[1]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部　血液・内分泌代謝内科学
[2]徳島大学大学院医歯薬学研究部　口腔顎顔面矯正学分野

W5-5　モノソミー 7 を伴う難治性白血病に対する合成致死性を利用した新規治療標的の探索 74
松田 健佑、水野 秀明、宮内 将、黒川 峰夫
東京大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科

WEB

ワークショップ6

DNA修復・核酸医薬

【モデレーター】 稲澤 譲治（東京医科歯科大学難治疾患研究所　ゲノム応用医学研究部門 分子細胞遺伝学分野）
田原 栄俊（広島大学大学院医系科学研究科　細胞分子生物学研究室）

W6-1　SMARCA4 欠損は内在性 DNA 複製ストレスの増加と reversed fork の不安定化を誘導し ATR 阻害剤感受性を高める 74
塩谷 文章
国立がん研究センター　研究所　細胞情報学分野

W6-2　胃癌腹膜播種に対するアンチセンス核酸医薬腹腔内投与法の開発 75
神田 光郎
名古屋大学　大学院　医学系研究科　消化器外科学

W6-3　新規アンチセンス二本鎖 DNA オリゴヌクレオチドは、BCR-ABL 陽性白血病細胞を抑制する 75
星子 亨幹[1]、久保田 寧[1,2]、渡邉 達郎[3]、木村 晋也[1,3]
[1]佐賀大学医学部血液腫瘍内科学
[2]佐賀大学病院輸血部
[3]佐賀大学医学部創薬科学講座

W6-4　microRNA 創薬による難治性固形癌の克服に向けた独自ツールの開発と活用 76
谷口 高平[1,2]、内山 和久[1]、赤尾 幸博[3]
[1]大阪医科大学　医学部　一般・消化器外科学教室
[2]大阪医科大学　トランスレーショナルリサーチ部門
[3]岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

W6-5　MYC 経路を標的とする新規腫瘍抑制型 miRNA の同定 76
玄 泰行[1]、稲澤 譲治[1,2]
[1]東京医科歯科大学　難治疾患研究所　分子細胞遺伝分野
[2]東京医科歯科大学　疾患バイオリソースセンター

WEB

ワークショップ7

がん代謝・細胞死・細胞老化・オートファジー

【モデレーター】 古川 龍彦（鹿児島大学 大学院 医歯学総合研究科　分子腫瘍学分野）
大谷 直子（大阪市立大学大学院医学研究科　病態生理学(生理学第一)）

W7-1　ミトコンドリア内葉酸代謝酵素を標的としたがん治療 77
Jin Lee[1]、西村 建徳[1]、曽我 朋義[2]、後藤 典子[1]
[1]金沢大学　がん進展制御研究所　分子病態研究分野
[2]慶應義塾大学　先端生命科学研究所　メタボローム研究グループ

W7-2　低栄養環境で高発現するがん特異的代謝遺伝子の機能解明 77
小野寺 威文、大庭 俊一、百瀬 功、川田 学
(公財)微生物化学研究会　微生物化学研究所　沼津支所

W7-3　Sirt1-NAD$^+$経路による炎症性腸疾患関連大腸がんの抑制機構の解明 78
天野 恭志、上田 健、古室 暁義、岡田 斉
近畿大学　医学部　生化学教室

W7-4　慢性骨髄性白血病の TKI 治療に対するオートファジー阻害剤の併用効果 78
馬場 智久、向田 直史
金沢大学　がん進展制御研究所

W7-5　メラノーマ細胞における細胞密度依存的なフェロトーシス誘導の性状解析 79
白濱 仁深[1]、旦 慎吾[2]、冨田 章弘[1]
[1]（公財）がん研究会　がん化学療法センター　ゲノム研究部
[2]（公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子薬理部

WEB

ワークショップ8
リキッドバイオプシー・CTC・バイオマーカー

【モデレーター】 宮寺 和孝（大鵬薬品工業株式会社　研究本部）
軒原 浩（徳島大学大学院医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野）

W8-1　*EGFR* T790M 変異陽性肺癌患者におけるオシメルチニブ治療中の循環腫瘍 DNA のモニタリング (WJOG8815L) 79
坂井 和子[1]、高濱 隆幸[2]、東 公一[3]、武田 真幸[2]、岡本 勇[4]、小野 哲[5]、中川 和彦[2]、西尾 和人[1]
[1]近畿大学医学部ゲノム生物学
[2]近畿大学医学部腫瘍内科
[3]久留米大学医学部第一内科
[4]九州大学病院呼吸器科
[5]静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科

W8-2　肝がんの診断と予後予測における組織中・血中 MYCN 発現の臨床的意義 80
秦 咸陽、小嶋 聡一
理研　肝がん予防研究ユニット

W8-3　高感度 DNA メチル化検出法を利用した血液中遊離 DNA による膵臓がん診断 80
新城 恵子、近藤 豊
名古屋大学　大学院医学系研究科　腫瘍生物学

W8-4　マイクロキャビティアレイ(MCA)システムを用いた AXL 発現血中循環腫瘍細胞(CTC)の検出 81
佐藤 孝一、洪 泰浩、池田 美央、寺岡 俊輔、小柳 潤、徳留 なほみ、赤松 弘朗、小澤 雄一、上田 弘樹、山本 信之
和歌山県立医科大学内科学第三講座

W8-5　イマチニブの TDM のための Sandwich ELISA の開発 81
山本 雄大[1]、木村 晋也[1,2]、齋田 哲也[3]
[1]佐賀大学　医学部　創薬科学講座
[2]佐賀大学　医学部　血液・呼吸器・腫瘍内科
[3]崇城大学　生物生命学部　応用生命科学科

WEB

ワークショップ9
微小環境・血管新生・低酸素

【モデレーター】 秋永 士朗（ナノキャリア株式会社）
櫻井 宏明（富山大学学術研究部薬学　和漢系　がん細胞生物学）

W9-1　組織透明化手法を用いたがん微小環境の解析 82
高橋 恵生、江幡 正悟、宮園 浩平
東京大学大学院　医学系研究科　分子病理学

W9-2　ミトコンドリア機能評価による休眠がん細胞標的薬剤の作用機構解析 82
宮本 康太郎[1]、門之園 哲哉[1]、井上 正宏[2]、近藤 科江[1]
[1]東京工業大学　生命理工学院
[2]京都大学 大学院医学研究科

W9-3　IL-32 の悪性胸膜中皮腫の増殖および血管新生因子 IL-8 および VEGF 産生に対する作用.....83
沼崎 宗夫
東北大学病院　加齢・老年病科

W9-4　ミトコンドリア ATP 合成酵素の阻害は前立腺間質細胞のインスリン様成長因子の分泌を低下させ前立腺がんの増殖抑制につながる.....83
大石 智一[1]、大庭 俊一[1]、川田 学[1,2]
[1]微生物化学研究所（微化研）沼津支所
[2]所属機関名:微生物化学研究所（微化研）第 1 生物活性研究部

W9-5　メカニカルアンローディングは骨破壊と骨髄腫進展を加速させる.....84
谷本 幸多朗[1,2]、天真 寛文[1,2]、清水 宗[1,2]、原田 武志[2]、安倍 正博[2]
[1]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　口腔顎顔面矯正学分野
[2]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　血液・内分泌代謝内科学分野

WEB

ワークショップ10

耐性因子・感受性因子

【モデレーター】 片桐 豊雅（徳島大学先端酵素学研究所　プロテオゲノム研究領域 ゲノム制御学分野）
山田 忠明（京都府立医科大学大学院医学研究科　呼吸器内科学）

W10-1　BIG3-PHB2 標的治療薬によるトラスツズマブ耐性 HER2 陽性乳がんの克服.....84
吉丸 哲郎、松下 洋輔、片桐 豊雅
徳島大学　先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野

W10-2　アドリアマイシン及びデキサメタゾン耐性多発性骨髄腫においてシグナル活性化による Bim 発現低下が耐性獲得の中心的役割を果たす.....85
関 しおり、椿 正寛、武田 朋也、山本 裕太、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

W10-3　EGFR、c-Met、PDGFR 各阻害剤耐性膠芽腫細胞における血管内皮細胞様分化転換と代謝亢進.....85
津田 真寿美[1,2,3]、鈴鹿 淳[1,3]、王 磊[1,3]、田中 伸哉[1,2,3]
[1]北海道大学大学院医学研究院　腫瘍病理学教室
[2]北海道大学　化学反応創成研究拠点
[3]北海道大学　国際連携研究教育局　ソフトマター

W10-4　肝細胞癌におけるソラフェニブ耐性に関わる miRNA とその機序の解明.....86
平尾 章博、高山 哲治
徳島大学　消化器内科

W10-5　オシメルチニブ耐性獲得の新しい分子機序：AXL と CDCP1 の発現亢進は SFK 活性化に緊密に関連する.....86
村上 雄一[1,2]、日下部 大樹[2,3]、渡 公佑[2]、柴田 智博[2]、河原 明彦[4]、東 公一[5]、桑野 信彦[1]、小野 眞弓[2]
[1]聖マリア健康科学研究所
[2]九州大学大学院薬学研究院創薬腫瘍科学講座
[3]九州大学大学院薬学研究院生命物理学分野
[4]久留米大学病院病理部
[5]久留米大学医学部呼吸器内科

WEB

ワークショップ11

新規モデル・新規分子標的

【モデレーター】 向田 直史（金沢大学がん進展制御研究所　分子生体応答研究分野）
井上 正宏（京都大学 大学院医学研究科　クリニカルバイオリソース研究開発講座）

W11-1 悪性黒色腫における SOX10 を介した PD-L1 の発現抑制機構.....87
高橋 篤司[1]、早川 芳弘[2]、櫻井 宏明[1]、横山 悟[1]
[1]富山大学学術研究部薬学和漢系　がん細胞生物学研究室
[2]富山大学和漢医薬学総合研究所　病態生化学分野

W11-2 トリプルネガティブ乳癌における RHBDL2 のグルタミン代謝制御の役割解明.....87
松下 洋輔、吉丸 哲郎、片桐 豊雅
徳島大学　先端酵素学研究所　ゲノム制御学分野

W11-3 ヒト新規膵腺房細胞癌株の樹立と解析.....88
星 大輔[1]、喜多 絵美里[1,2]、丸 喜明[1]、筆宝 義隆[1]
[1]千葉県がんセンター研究所・発がん制御
[2]千葉県がんセンター・消内

W11-4 微小乳頭型尿路上皮癌（Micropapillary urothelial carcinoma）の PDX model の樹立と治療法の開発.....88
大豆本 圭、福原 弥生、布川 朋也、高橋 正幸、金山 博臣
徳島大学大学院　医歯薬学研究部　泌尿器科学分野

W11-5 「細胞の見える化」技術による 3 次元培養スフェロイドを対象とする抗がん剤探索・評価系の構築.....89
水上 民夫[1,2]、長谷川 慎[1]、佐々木 隆造[1,2]
[1]長浜バイオ大学バイオサイエンス学部
[2]フロンティアファーマ

WEB

ワークショップ12

キナーゼ阻害剤

【モデレーター】 日浅 陽一（愛媛大学大学院　消化器・内分泌・代謝内科学）
馬島 哲夫（(公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子生物治療研究部）

W12-1 HER2 キナーゼ阻害剤 TAS0728 による trastuzumab/pertuzumab 又は T-DM1 に対する獲得耐性の克服.....89
川端 留美
大鵬薬品工業株式会社　研究本部

W12-2 Akt 阻害剤での大腸癌における MEK 阻害剤耐性克服効果.....90
椿 正寛、武田 朋也、立石 敬典、源野 秀次、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

W12-3 GZD824 の GCN2−ATF4 ストレス応答経路に対する阻害効果.....90
高橋 瑞希[1,2]、加藤 優[2]、國政 和弘[1]、杉本 芳一[2]、冨田 章弘[1]
[1]（公財）がん研究会　がん化学療法センター　ゲノム研究部
[2]慶應大学大学　薬学部　化学療法学講座

W12-4　肝細胞癌における Protein kinase R (PKR)の役割と、治療標的としての可能性.....91
渡辺 崇夫[1]、今村 健志[2]、日浅 陽一[1]
[1]愛媛大学大学院　医学系研究科　消化器・内分泌・代謝内科学
[2]愛媛大学大学院　医学系研究科　分子病態医学

W12-5　ALK 融合遺伝子陽性肺がんの初期治療抵抗性機構の解明とその克服法の開発.....91
谷村 恵子[1]、山田 忠明[1]、岡田 康太郎[2]、米田 和恵[3]、堀中 真野[4]、酒井 敏行[4]、矢野 聖二[5]、片山 量平[2]
[1]京都府立医科大学大学院　医学研究科　呼吸器内科学
[2]公益財団法人がん研究会　がん化学療法センター　基礎研究部
[3]産業医科大学　医学部　第2外科
[4]京都府立医科大学大学院 創薬医学
[5]金沢大学がん進展制御研究所　腫瘍内科

WEB

ポスター1

ゲノム・エピゲノム

【モデレーター】 岡田 斉（近畿大学医学部　生化学教室）

P1-1　新規経口 DNA 脱メチル化剤 OR-21 は Azacitidine 耐性を克服する 92
嬉野 博志[1,2]、蒲池 和晴[1,2]、吉田 奈央[2]、倉橋 祐樹[2]、渡邉 達郎[2]、木村 晋也[1,2]
[1]佐賀大学　医学部　血液腫瘍内科
[2]佐賀大学　医学部　創薬科学講座

P1-2　成人 T 細胞白血病/リンパ腫に対する DNA 脱メチル化剤と EZH2 阻害剤の併用療法 92
倉橋 祐樹[1,2]、渡邉 達郎[2]、嬉野 博志[2,3]、蒲池 和晴[2,3]、吉田 奈央[2]、山本 雄大[2]、木村 晋也[2,3]
[1]大原薬品工業株式会社
[2]佐賀大学　創薬科学講座
[3]佐賀大学　医学部　血液・呼吸器・腫瘍内科

P1-3　DNA メチル化による腎細胞癌細胞のアポトーシス耐性獲得 93
宮國 昂介[1]、西田 純[1]、江幡 正悟[1,2]、宮園 浩平[1]
[1]東京大学大学院　医学系研究科　分子病理学
[2]東京大学　環境安全研究センター

P1-4　ヒストンメチル化酵素 DOT1L の阻害は IRF4-MYC シグナルを抑制することで多発性骨髄腫細胞の増殖を抑制する 93
鈴木 拓、山本 英一郎
札幌医科大学医学部分子生物学講座

P1-5　成人 T 細胞白血病/リンパ腫における DNA メチル化異常による T 細胞受容体シグナル制御の破綻 .94
渡邉 達郎[1]、嬉野 博志[1,2]、倉橋 祐樹[1,3]、蒲池 和晴[1,2]、吉田 奈央[1]、山本 雄大[1]、末岡 榮三朗[4]、木村 晋也[1,2]
[1]佐賀大学　創薬科学講座
[2]佐賀大学　医学部　血液・呼吸器・腫瘍内科
[3]大原薬品工業株式会社
[4]佐賀大学　医学部　臨床検査医学講座

P1-6　エストロゲンによる初期乳癌発生のメカニズムの解明 94
伊東 潤二[1]、佐藤 史顕[2]、戸井 雅和[3]
[1]神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター老化機構研究部
[2]関西電力病院乳腺外科
[3]京都大学大学院医学研究科乳腺外科学

P1-7　新規膵癌関連遺伝子 ASAP2 の同定と治療標的としての可能性 95
藤井 昌志[1,2]、増田 隆明[1]、三森 功士[1]
[1]九州大学病院別府病院　外科
[2]九州大学大学院　臨床・腫瘍外科

P1-8　トリプルネガティブ乳癌細胞のミトコンドリア構造・機能制御における BIG3-PHB2 複合体の病態生理的役割と創薬開発 95
相原 仁、吉丸 哲郎、片桐 豊雅
徳島大学　先端酵素学研究所　ゲノム制御学分野

WEB

ポスター2

ケミカルバイオロジー・核酸医薬

【モデレーター】 野口 耕司（東京理科大学　薬学部　薬学科）

P2-1　FOXO3a の細胞内局在解析によるシグナル伝達系阻害物質の探索 ……96
渡辺 信元[1,2]、室井 誠[2]、長田 裕之[2]
[1]理研環境資源科学研究センターバイオプローブ応用研究ユニット
[2]理研環境資源科学研究センターケミカルバイオロジー研究グループ

P2-2　がん遺伝子 YAP タンパク質を分解する抗がん剤開発 ……96
中野 なおこ[1]、正田 卓司[2]、内藤 幹彦[3]、伊東 進[1]
[1]昭和薬科大学　薬学部　生化学研究室
[2]国立医薬品食品衛生研究所　有機化学部
[3]国立医薬品食品衛生研究所　遺伝子医薬部

P2-3　インダゾール誘導体 Lonidamine 結合タンパク質の同定と作用機序の解析 ……97
青山 愛[1]、藤元 次郎[1,2]、仙波 憲太郎[1,3]
[1]早稲田大学　先進理工学研究科　生命医科学専攻
[2]バイオ産業情報化コンソーシアム
[3]福島医科大学　医療ー産業TRセンター

P2-4　2DE-CETSA を用いた抗がん活性化合物 CP10801 の作用機構解析 ……97
青野 晴美、川谷 誠、室井 誠、永澤 生久子、二村 友史、長田 裕之
理研CSRS・ケミカルバイオロジー研究グループ

P2-5　Formycin A による去勢抵抗性前立腺がん細胞選択的細胞死誘導 ……98
武井 智暉[1]、本郷 周[2]、小坂 威雄[2]、大家 基嗣[2]、井本 正哉[1]
[1]慶應義塾大学大学院　理工学研究科
[2]慶應義塾大学　医学部

P2-6　多糖を利用した脳腫瘍へのアンチセンス核酸デリバリー ……98
隅谷 和樹[1,2]、和泉 弘人[2]、櫻井 和朗[1]
[1]北九州市立大学
[2]産業医科大学

P2-7　LNP を介した *miR-634* の腫瘍への送達による抗腫瘍効果 ……99
井上 純[1]、稲澤 譲治[1,2]
[1]東京医歯大　難研　分子細胞遺伝
[2]東京医歯大・疾患バイオリソースセンター

P2-8　トリプルネガティブ乳がん細胞への polyI:C の効果とその機序の検討 ……99
田村 佑介、鯉沼 代造、宮園 浩平
東大・院医・分子病理

WEB

ポスター3

細胞死・オートファジー・がん代謝

【モデレーター】 冨田 章弘（(公財）がん研究会　がん化学療法センター　ゲノム研究部）

P3-1　PI3K 阻害剤 ZSTK474 の肉腫細胞に対する細胞死誘導作用の解析 ……100
礒山 翔、玉城 尚美、旦 慎吾
（公財）がん研究会　がん化療セ　分子薬理部

P3-2　カチオンリポソームの胆管がんに対する *in vitro* 及び *in vivo* での治療効果.....100
高木 博充、元村 宗誠、市原 英明、松本 陽子
崇城大学　大学院　工学研究科　応用生命科学専攻

P3-3　pan-PI3K 阻害剤 ZSTK474 の滑膜肉腫に対するアポトーシス誘導機構の解析.....101
玉城 尚美、礒山 翔、旦 慎吾
（公財）がん研究会　がん化療セ　分子薬理部

P3-4　ALK 融合遺伝子陽性肺癌における STAT3 阻害薬の併用によるアポトーシス抵抗性の克服.....101
柳村 尚寛、竹内 伸司、福田 康二、新井 祥子、谷本 梓、西山 明宏、矢野 聖二
金沢大学がん進展制御研究所　腫瘍内科学分野

P3-5　レスベラトロールは子宮肉腫細胞において、wnt シグナルを抑制することによりアポトーシスを誘導し、細胞増殖を抑制する.....102
峯田 あゆか、西村 正人
徳島大学

P3-6　*SLUG* 導入 HCT116 細胞における xCT 発現上昇とフェロトーシス抵抗性.....102
加藤 優、近藤 慎吾、杉本 芳一
慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座

P3-7　演題取り下げ.....103

P3-8　BHLHE41 による肺腺がん進行の抑制効果.....103
古川 龍彦、南 健太朗、河原 康一、新里 能成
鹿児島大院　医歯研　分子腫瘍学

WEB

ポスター4

キナーゼ阻害剤

【モデレーター】 旦 慎吾（(公財）公財がん研究会　がん化学療法センター　分子薬理部）

P4-1　強い抗がん特異性を示し CDK を阻害する新規ラメラリン類縁体 Azalam4 の同定.....104
大橋 愛美[1]、福田 勉[2]、岡村 睦美[1]、西谷 直之[3]、岩尾 正倫[2]、旦 慎吾[1]
[1]（公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子薬理部
[2]長崎大・工・物質科学・有機生命科学
[3]岩手医科大・薬・臨床薬学・情報薬科学

P4-2　急性骨髄性白血病細胞の普遍的な分子標的の探索.....104
片山 和浩
日本大学・薬学部・分子標的治療学研究室

P4-3　EGFR 遺伝子変異陽性肺がんの初期治療抵抗性に対する新規 AXL 阻害薬 ONO-7475 の効果.....105
大倉 直子[1]、西岡 直哉[1]、谷村 恵子[1]、矢野 聖二[2]、小崎 龍平[3]、堀中 真野[4]、酒井 敏行[4]、山田 忠明[1]
[1]京都府立医科大学大学院　呼吸器内科学
[2]金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科研究分野
[3]小野薬品工業株式会社 オンコロジー研究センター
[4]京都府立医科大学大学院 創薬医学

P4-4　EGFR 変異陽性肺癌に対する Osimertinib の治療実態.....105
木畑 佳代子、小澤 真璃、泉野 弘樹、山中 雄太、金田 俊彦、吉岡 弘鎮、倉田 宝保、野村 昌作
関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科

P4-5　EGFR 阻害薬で治療された腫瘍における EGFR T790M 変異および活性化変異のシスおよびトランスの頻度.....106
平野 邦夫、秋山 真親、前門戸 任
岩手医科大学　内科学講座　呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野

P4-6　Futibatinib（FGFR 1-4 inhibitor）と TAS-117（AKT inhibitor）との併用療法の FGFR 遺伝子異常を有するがん細胞に対する相乗効果 106
倉本 卓哉
大鵬薬品工業株式会社　トランスレーショナル研究所

P4-7　進行・再発乳癌に対するパルボシクリブの有効性と安全性の検討 107
新関 浩人
北見赤十字病院　外科

P4-8　ヒト大腸がん細胞における GSK3 阻害剤の GLUT3 選択的発現抑制と抗腫瘍メカニズムの解析 107
佐京 智子、西谷 直之、北川 隆之
岩手医科大学　薬学部

WEB

ポスター5

耐性因子・感受性因子

【モデレーター】 江幡 正悟（東京大学大学院医学系研究科　分子病理学）

P5-1　EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺がんの腫瘍内 AXL 発現と初回オシメルチニブ効果に関する検討 108
吉村 彰紘[1]、矢野 聖二[2]、山田 忠明[1]
[1]京都府立医科大学　呼吸器内科
[2]金沢大学がん進展制御研究所　腫瘍内科

P5-2　PAI-1 は上皮間葉転換を介して EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の Osimertinib に対する耐性獲得に関与する 108
徳毛 健太郎、益田 武、山口 覚博、坂本 信二郎、堀益 靖、宮本 真太郎、中島 拓、岩本 博志、藤高 一慶、濱田 泰伸、服部 登
広島大学大学院分子内科学

P5-3　Nicotinamide phosphoribosyltransferase 阻害剤 FK866 に対するがん耐性機構の解析 109
荻野 暢子[1,2]、佐藤 聡[2]、田沼 靖一[3]
[1]東京理科大学 薬学部 遺伝子制御学研究室
[2]東京理科大学 薬学部 生化学研究室
[3]東京理科大学 総合研究院　ゲノム創薬科学研究室

P5-4　ATLL 細胞株における DNA 脱メチル化剤耐性獲得機序の解明 109
吉田 奈央[1]、渡邉 達郎[1]、嬉野 博志[1,2]、倉橋 祐樹[1,3]、蒲池 和晴[1,2]、山本 雄大[1]、末岡 榮三郎[4]、木村 晋也[1,2]
[1]佐賀大学　医学部　創薬科学講座
[2]佐賀大学医学部　血液・呼吸器・腫瘍内科
[3]大原薬品工業株式会社
[4]佐賀大学　医学部　臨床検査医学講座

P5-5　難治性膀胱癌における細胞内代謝リプログラミングを利用した抗癌剤別耐性獲得機序の解明 110
茂田 啓介[1]、菊地 栄次[1,3]、長谷川 政徳[2]、小坂 威雄[1]、宮嶋 哲[2]、大家 基嗣[1]
[1]慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室
[2]東海大学医学部泌尿器科学教室
[3]聖マリアンナ医科大学腎泌尿器外科学教室

P5-6　PI3CA 変異大腸癌において perifosine はオキサリプラチン及び 5-フルオロウラシル併用での抗腫瘍効果を増強させる 110
山本 裕太、椿 正寛、武田 朋也、立石 敬典、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

P5-7　骨髄腫細胞の TAK1 の恒常的活性化における内因性 PP2A 阻害因子 CIP2A の役割 111
清水 宗[1,2]、安倍 正博[2]
[1]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野
[2]徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野

P5-8　アスコルビン酸は骨肉腫細胞へのシスプラチン感受性を増強する.....111
上田 健、古室 暁義、天野 恭志、岡田 斉
近畿大学医学部生化学教室

P5-9　ヒト神経膠芽腫細胞における環状過酸化物の抗がん活性評価.....112
戸谷 滉希[1]、荻野 暢子[1,2]、佐藤 聡[1]
[1]東京理科大学　薬学部　生化学研究室
[2]東京理科大学　薬学部　遺伝子制御学研究室

WEB

ポスター6

免疫療法・抗体療法

【モデレーター】 高井 信治（小野薬品工業株式会社　メディカルアフェアーズ部）

P6-1　肺癌において細胞障害性抗癌剤が免疫原性細胞死に与える影響についての検討.....112
香西 博之、三橋 惇志、Nguyen Thi Na、Tania Afroj、米田 浩人、大塚 憲司、軒原 浩、西岡 安彦
徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野

P6-2　非小細胞肺癌治療に用いられる殺細胞性抗癌剤の中でペメトレキセドはカルレティキュリンを強く誘導する.....113
古川 里恵[1]、井上 博之[1]、堤 央乃[1]、岡村 晃資[1]、劉 仁鵬[1]、安藤 伸尚[1]、池松 祐樹[1]、岩間 英二[1]、岡本 勇[1]
[1]九州大学大学院　胸部疾患研究施設
[2]九州大学病院　ARO次世代医療センター

P6-3　転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の初期経験.....113
高橋 正幸、大豆本 圭、布川 朋也、金山 博臣
徳島大学大学院　医歯薬学研究部　泌尿器科

P6-4　免疫チェックポイント阻害薬による薬物性肝障害の病理.....114
常山 幸一
徳島大学大学院　医歯薬学研究部　疾患病理学分野

P6-5　大腸がん患者に対する所属リンパ節を用いた細胞療法の有効性の検討.....114
岡村 和美、中村 祐輔、清谷 一馬
公益財団法人　がん研究会　がんプレシジョン医療研究センター

P6-6　腫瘍免疫における線維細胞の免疫調節機能の検討.....115
Tania Afroj[1]、荻野 広和[1]、三橋 惇志[1]、米田 浩人[1]、香西 博之[1]、大塚 憲司[1]、軒原 浩[1]、安倍 正博[2]、西岡 安彦[1]
[1]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野
[2]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　血液・内分泌代謝学分野

P6-7　マルチエピトープがんペプチドワクチンの効率的なデザイン方法.....115
後藤 理沙、長田 年弘、宮寺 和孝、宇津木 照洋
大鵬薬品工業株式会社

P6-8　悪性胸膜中皮腫に対するがん特異的抗 podoplanin 抗体 chLpMab-23f の *in vitro* における抗腫瘍効果の検討.....116
川原 一輝[1]、阿部 真治[1]、加藤 幸成[2]、西岡 安彦[3]
[1]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　臨床薬学実務教育学分野
[2]東北大学大学院　医学系研究科　抗体創薬研究分野
[3]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野

WEB

ポスター7

分子標的薬・バイオマーカー

【モデレーター】 田村 友秀（聖路加国際病院　呼吸器内科）

P7-1　高メチル化大腸がんが抗 EGFR 抗体薬抵抗性となる分子生物学的メカニズムの探索.....116
大内 康太[1,2]、高橋 信[1,2]、沖田 啓[3]、大槻 泰史[2]、石岡 千加史[1,2]
[1]東北大学病院　腫瘍内科
[2]東北大学加齢医学研究所　臨床腫瘍学分野
[3]大崎市民病院　腫瘍内科

P7-2　非小細胞肺癌に対する EGFR-TKI 療法における末梢血中液性因子と治療効果との関係.....117
松尾 規和、東 公一
久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門

P7-3　非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の予後予測因子の検討.....117
近藤 健介、軒原 浩、三橋 惇志、米田 浩人、香西 博之、大塚 憲司、西岡 安彦
徳島大学大学院　医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野

P7-4　非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の治療効果と腸内細菌叢の組成についての検討.....118
片山 勇輝、山田 忠明
京都府立医科大学附属病院　呼吸器内科

P7-5　肺がん患者における免疫チェックポイント阻害薬による間質性肺疾患の発現リスク因子の検討：単施設後ろ向き研究.....118
岡田 直人[1]、座間味 義人[1,2]、中馬 真幸[3]、合田 光寛[1]、西岡 安彦[4]、石澤 啓介[1,2]
[1]徳島大学病院　薬剤部
[2]徳島大学大学院医歯薬学研究部　臨床薬理学
[3]徳島大学病院　臨床試験管理センター
[4]徳島大学大学院医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学

P7-6　免疫チェックポイント阻害剤誘発心筋炎のリスクファクター探索.....119
新村 貴博[1]、座間味 義人[1,2]、福島 圭穣[3]、岡田 直人[2]、合田 光寛[2]、石澤 有紀[4]、石澤 啓介[1,2]
[1]徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野
[2]徳島大学病院薬剤部
[3]徳島大学大学院医歯薬学研究部生命薬理学分野
[4]徳島大学AWAサポートセンター

P7-7　肺癌剖検例を対象とした cfDNA 遺伝子検査検出率に影響を与える因子の検討.....119
木村 英晴
金沢大学附属病院　呼吸器内科

WEB

ポスター8

がん微小環境・血管新生

【モデレーター】 近藤 科江（東京工業大学大学院生命理工学研究科）

P8-1 **新規呼吸鎖 complex I 阻害剤による腫瘍微小環境の調節を介した抗がん剤の創薬研究**.....120
吉田 潤次郎[1]、雨宮 昌秀[1]、立田 大輔[1]、大石 智一[2]、大庭 俊一[2]、川田 学[1,2]
[1]微生物化学研究所　第 1 生物活性研究部
[2]微生物化学研究所　沼津支所・動物施設

P8-2 **B16F10 メラノーマ細胞のグルコース飢餓ストレス耐性および転移に対する乳酸による Akt 活性化の関与**.....120
松尾 泰佑、佐塚 泰之
岩手医科大学薬学部

P8-3 **すい癌細胞の３D 増殖に与える間質細胞の役割**.....121
立田 大輔[1]、吉田 潤次郎[1]、大石 智一[2]、川田 学[1,2]
[1]微生物化学研究所　第1生物活性研究部
[2]微生物化学研究所　沼津支所

P8-4 **腫瘍や癌治療がもたらす破骨細胞分化に及ぼす febuxostat の効果**.....121
天真 寛文[1,2]、谷本 幸多朗[1]、清水 宗[1]、原田 武志[2]、安倍 正博[2]
[1]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　口腔顎顔面矯正学分野
[2]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　血液・内分泌代謝内科学分野

P8-5 **マウス中皮腫細胞株皮下移植モデルにおける細胞障害性抗癌剤の腫瘍関連骨髄由来抑制細胞への影響**.....122
Nguyen Thi Na、三橋 惇志、Tania Afroj、米田 浩人、香西 博之、大塚 憲司、軒原 浩、西岡 安彦
徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野

P8-6 **血管新生阻害剤 TNP-470 はヒトがん細胞の血管擬態形成を抑制する**.....122
清水 翔太、川原 遼太、三浦 一輝、清水 史郎
慶應義塾大学　理工学部　応用化学科

P8-7 **既治療非小細胞肺がんを対象としたドセタキセル＋ラムシルマブ併用に関する多施設共同後方視的検討**.....123
米田 浩人[1]、吉村 彰紘[2]、後東 久嗣[1]、西岡 安彦[1]、山田 忠明[2]
[1]徳島大学病院　呼吸器・膠原病内科
[2]京都府立医科大学付属病院　呼吸器内科

P8-8 **非小細胞肺がんに合併した悪性胸水に対する bevacizumab の有効性と耐性化機序の解析**.....123
西條 敦郎[1]、香西　博之[2]、後東 久嗣[2]、大塚 憲司[2]、米田 浩人[2]、三橋 惇志[2]、西岡 安彦[2]
[1]公立学校共済組合四国中央病院
[2]徳島大学大学院医歯薬学研究部　呼吸器・膠原病内科学分野

WEB

ポスター9

転移・浸潤・がん幹細胞

【モデレーター】 近藤 英作（新潟大学大学院医歯学総合研究科　分子細胞病理学分野）

P9-1　Sorafenib によるマルチキナーゼ阻害での悪性黒色腫での腫瘍増殖・転移抑制効果.....124
武田 朋也、椿 正寛、源野 秀次、山本 裕太、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

P9-2　PLOD2-インテグリン beta-1 相互作用を標的とするがん浸潤・転移阻害剤の開発.....124
齋藤 憲、近藤 英作
新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学

P9-3　Rho 過剰発現悪性黒色腫を標的とした Statins 及び dacarbazine 併用による腫瘍増殖・転移抑制効果.....125
西田 升三、椿 正寛、武田 朋也、源野 秀次、山本 裕太
近畿大・薬・薬物治療学

P9-4　乳がん肺高転移株における殺細胞性抗がん剤耐性機構と細胞増殖機構の解明.....125
林 祐介[1]、中山 淳[1]、仙波 憲太郎[1,2]
[1]早稲田大学大学院　先進理工学研究科　生命医科学専攻
[2]福島県立医科大学　医産TRセンター

P9-5　Rhosin による Rho 阻害に基づく RHAMM 及び CXCR4 発現抑制を介した転移阻害効果.....126
源野 秀次、椿 正寛、武田 朋也、山本 裕太、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

P9-6　ALDH1A3 は制がん剤処理後の残存胃がん細胞で発現亢進し、増殖と造腫瘍性に寄与する.....126
馬島 哲夫[1]、川上 隆兵[1,2]、清宮 啓之[1,2]
[1](公財)がん研・がん化療セ・分子生物治療
[2]東大院・新領域・メディ

P9-7　shRNA スクリーニングによる大腸がん幹細胞の新規治療標的分子経路の探索.....127
森野 峻[1,2]、馬島 哲夫[1]、吉田 稔[3]、清宮 啓之[1,2]
[1]（公財）がん研究会　がん化学療法センター　分子生物治療研究部
[2]東京大学大学院　新領域創成科学研究科　メディカル情報生命
[3]理研　環境資源科学研究センター　ケミカルゲノミクス

P9-8　がん関連線維芽細胞由来の液性因子は乳がん幹細胞様細胞の維持に寄与する.....127
竹内 康人[1]
[1]金沢大学　がん進展制御研究所　分子病態研究分野
[2]南町田病院　外科
[3]東京大学　乳腺内分泌外科
[4]埼玉医科大学　遺伝子情報制御部門
[5]国立がん研究センター　がん分化制御解析分野
[6]東京大学　医科学研究所　分子療法分野

P9-9　受容体型チロシンキナーゼ c-KIT による大腸がん幹細胞性の維持.....128
冨澤 文弥[1,2]、張 明奎[1,2]、馬島 哲夫[1]、清宮 啓之[1,2]
[1]公益財団法人がん研究会化学療法センター分子生物治療研究部
[2]東京大学新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻

WEB

ポスター10

新規分子標的

【モデレーター】 田沼 靖一（東京理科大学　研究推進機構　総合研究院）

P10-1　新規タンパク質結合阻害型 RNR 阻害剤 TAS1553 の創製 128
福嶋 浩人
大鵬薬品工業株式会社　研究本部　トランスレーショナル研究所

P10-2　口腔悪性末梢神経鞘腫瘍における新規融合遺伝子の同定 129
徳善 紀彦、中城 公一、合田 啓之、栗林 伸行、内田 大亮
愛媛大学大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座

P10-3　FDA 承認薬ライブラリーから見出したピタバスタチンの抗腫瘍効果についての機能解析 129
村松 智輝[1,2]、稲澤 譲治[1,3]
[1]東京医科歯科大学　難研　分子細胞遺伝
[2]東京医科歯科大学　難研　難病基盤・応用研究プロジェクト室
[3]東京医科歯科大学　疾患バイオリソースセンター

P10-4　Statins はオキサリプラチン誘発末梢神経障害を抑制し、抗腫瘍効果を増強できる 130
立石 敬典、椿 正寛、武田 朋也、関 しおり、西田 升三
近畿大・薬・薬物治療学

P10-5　SmgGDS の発現抑制は mTORC1 を抑制し悪性中皮腫の増殖を阻止する 130
関戸 好孝[1,2]、佐藤 龍洋[1]
[1]愛知県がんセンター　研究所　分子腫瘍学分野
[2]名大院・医・がん分子病因

P10-6　ミトコンドリア局在 BIG3-PHB2 複合体の抑制は骨肉腫細胞の悪性化を阻害する 131
土岐 俊一、吉丸 哲郎、相原 仁、松下 洋輔、片桐 豊雅
徳島大学先端酵素学研究所ゲノム制御学分野

P10-7　神経膠芽腫における papaverine の抗がん作用機構 131
佐藤 聡[1]、戸谷 滉希[1]、田沼 靖一[2]
[1]東京理科大学　薬学部　生化学研究室
[2]東京理科大学 総合研究院 ゲノム創薬科学研究室

P10-8　新規治療標的分子イベルメクチン結合タンパク質（IvBP）を介した Wnt/β-catenin 経路の阻害 132
米澤 穂波[1]、上原 至雅[2]、西谷 直之[1,2]
[1]岩手医科大学大学院　薬学研究科　臨床薬学講座　情報薬科学分野
[2]岩手医科大学　薬学部　臨床薬学講座　情報薬科学分野

P10-9　ストレス応答キナーゼ p38 による RSK-EphA2 経路の制御機構 132
周 越、横山 悟、櫻井 宏明
富山大学　学術研究部　薬学・和漢系　がん細胞生物学

WEB

ポスター11

新規モデル・新規技術

【モデレーター】 筆宝 義隆（千葉県がんセンター研究所　発がん制御研究部）

P11-1　数理シミュレーションを用いた EphA2/EGFR が制御する肝がん悪性化シグナルの解明.....133
室井 敦、越川 直彦
神奈川県立がんセンター臨床研究所

P11-2　ハイブリッドリポソームを用いた大腸がんに対するセラノスティクス.....133
宮本 英、奥村 真樹、市原 英明、松本 陽子
崇城大学　大学院　工学研究科　応用生命科学専攻

P11-3　組織学的特徴を維持した淡明細胞型腎細胞癌の PDC（Patient-Derived Cell）の樹立.....134
福原 弥生、大豆本 圭、布川 朋也、高橋 正幸、金山 博臣
徳島大学大学院　医歯薬学研究部　泌尿器科学分野

P11-4　甲状腺未分化癌同所移植マウスモデルと小動物用 FDG-PET/CT を用いた分子標的治療効果判定法の確立.....134
青山 万理子[1]、滝沢 宏光[1]、坪井 光弘[1]、丹黒 章[1]
[1]徳島大学大学院　胸部・内分泌・腫瘍外科
[2]徳島大学大学院　臨床腫瘍医療学

P11-5　婦人科がん研究における患者由来オルガノイドの活用.....135
丸 喜明、筆宝 義隆
千葉県がんセンター研究所　発がん制御研究部

P11-6　進行胆膵がん患者胆汁中腫瘍細胞のオルガノイド培養とその臨床応用.....135
喜多 絵美里[1,2]、丸 喜明[2]、星 大輔[1,2]、筆宝 義隆[2]
[1]千葉県がんセンター　消化器内科
[2]千葉県がんセンター　発がん制御研究部

P11-7　発育鶏卵を用いた患者由来がんモデルの開発.....136
宇都 義浩[1]、大豆本 圭[2]、福原 弥生[2]、上原 久典[3]、金山 博臣[2]
[1]徳島大学大学院社会産業理工学研究部(生物資源産業学域)
[2]徳島大学大学院　医歯薬学研究部　泌尿器科学分野
[3]徳島大学病院　病理部